



ぬ

り

ゑ

お茶の水にて

及川ふみ子

あやめ

— 観察への利用 —

今回は細かい色の説明をわざと省きます。季節柄お手許に實物の澤山あることですから、それを用ひてぬらせて見て下さい。或る子供には實物を前に置いて、見ながらぬらせるのもいゝでせう。或る子供には。

實物を見せた後記憶によつてぬらせて見るのもいゝでせう。どちらの場合も、實物の通りにぬれたかどうか、子供自身にしらべさせるのです。これは、いつものぬりゑの目的を擴げて、観察への利用を試みるわけです。目に見せ口で説明しただけよりは、この方が明瞭な観察が出来るといふ原理から。

